

被害の実態に即した適切な住家被害認定の
運用確保方策に関する検討会（第5回）
議 事 概 要

1. 検討会の概要

日時：平成22年2月25日（木）18:30～20:30

場所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 9階会議室

出席者：坂本座長、奥田委員、佐久間委員、重川委員、杉山委員、田中（聡）委員、
中埜委員、宇羅委員、田中（健）委員
青木参事官、福井参事官補佐

2. 議事概要

前回の検討会と各委員から事前にいただいた意見を踏まえ修正した「住家被害認定調査票（案）」について事務局より説明後、ご議論いただき、一部修正を前提に了承された。

<主な意見>

- 調査票のレイアウトについて、重要な情報である調査票番号や配置状況の欄をもう少し大きくする等の修正を加えた方がよいのではないか。
- 居住の実態を確認し、住家である旨を記載する欄を設けてはどうか。
- 基礎が無被害の場合に、後で調査漏れと混同しないように、無被害であることを何らかの形で調査表上に表現できるようにした方がよいのではないか。
- 図面上で、どの階が主要階であるかを明記できるようにした方がよいのではないか。

本件問い合わせ先
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（災害復旧・復興担当）付
福井、今西
TEL :03-3501-5191（直通）